

ヤマブドウの多収性候補系統を選抜

1 研究のねらい

県産ヤマブドウの優良品種を開発する目的で選抜試験を進めているが、今回は収量調査結果から多収性についての優良候補系統の選抜を行った。

2 研究方法と結果

調査対象は、岩手県内の野外から収集したものを挿し木により増殖し、矢巾町に植栽している12系統とした。結実初年度で収量の安定しなかった平成8年を除いた平成9年と平成10年の結実重量を、系統ごとの1本あたりの平均値で比較した。

その結果、平成9年は最高が12.4kgで最低は3.7kgと系統間で差を生じた。平成10年も同様の傾向を示し、最高が11.0kgで最低が2.9kgであった。

いずれの年も結実が安定し多収性を示した「山形2」「衣川」「川井1」「川井4」は、結実重量が他の系統に比べて特に多かった。この4系統は平成9年及び平成10年で、成木における単年度目標収量の6kg/本（葛巻町発行「山ぶどう栽培暦」参考）を大きく上回った。

3 成果の活用

上記4系統は多収性系統であることが明らかになったことから、普及に供する見通しが得られた。

今後は上記系統の品種登録申請を行うとともに、含有成分等についても調査を行い各特性の評価を行う予定である。さらに普及用の苗木の増殖を進めていく。

選抜から普及までの流れ

選抜目標

- ・ 多収性
- ・ 高品質性
- ・ 耐病性
- ・ 耐霜性

評価方法

- ・ 収量調査
- ・ 成分分析
- ・ 醸造試験
- ・ 病害、霜害調査

収量調査、品質調査



多収性候補系統の選抜



精密調査

品種登録/特性評価



所有権の確定

優良品種の普及

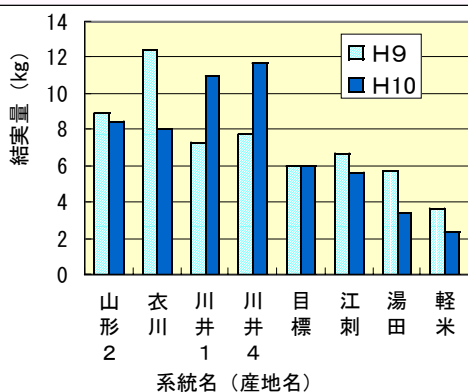


図 ヤマブドウ結実量



写真 多収性候補系統の結実状況

(担当 特用林産部 専門研究員 泉 憲裕)

連絡先 028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水560-11 TEL 019-697-1536
 岩手県林業技術センター FAX 019-697-1410
 ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>